

目次

1 科学者という種族 一五

科学者にむく人物 一六

性格と気質の問題 一七

知識の尺度 一八

研究チームのもつ知識 二〇

専門分野の広さ 二二

大学での教育訓練 二三

経験の役割 二五

判断の能力 二七

T/L 因子 二九

年配者の処遇 三〇

人材獲得 三三

昇進の問題 三六

給与と地位 三六

定期的な考課制度	三〇
最後の手段としての解雇	三三

2 研究所の解剖学	三三
-----------	----

研究所の立地条件	三三
研究室の設備	三三
専門別組織か目的別組織か	三五
支出の計算	三五
財務管理	三五
研究費の支給	三六
工 作 室	三六
製 図 室	三六
図 書 室	三六
ストック・ルーム	三六
写 真 部	三六
スポーツおよび社交クラブ	三六
3 研究所の生理学	三七
民主制と封建制	三七

一人一人の意欲	三三
勤務時間の問題	三三
外 出	三六
第一線の研究者	三六
管理は研究の潤滑油	三七
新しい研究所の設立	三八
4 上級研究者	三七
人間関係の重要性	三六
思 い や り	三九
上級者の意見と下級者の意見	三〇
上級者が下級の仕事を必要性	三三
時間の配分	三三
協議と自律	三六
コミュニケーションの短絡	三六
ヨコの関係	三九
外界との接触	三〇
所 長	三三

5	下級研究者	107
---	-------	-----

	下級研究者の機能	106
	報告と助言	109
	研究の遂行	110
	批判を避ける	111
	協議のコツ	112
	仕事の配分	114
	多忙度	115
	コミットのしかた	117
6	研究所の戦略	119

	研究と開発	120
	研究プロジェクトの選択	123
	研究分野の範囲	125
	顧客に対する配慮	127
	プロジェクトの価値評価	126
	プロジェクトの仕様の決定	130
	短期的な目標	133

7 アウト・プット

保守と急進	一三三
研究の戦術	一三四
プロジェクトの管理	一三五
プログレス・レポート	一三六
プロジェクトの終結	一三七
研究所の声価	一四一
宣伝の役割	一四二
口頭のコミュニケーション	一四三
公開講演	一四四
小グループの談話会	一四五
文筆によるコミュニケーション	一四六
自家製の研究報告	一四七
小 報 告	一四八
文章の重要性	一四九
論文内容の検討	一五〇
共 著 者	一五一
発表の自由	一五二

8 研究所の倫理学

成果としての設備や装置	一五九
プロトタイプ製作	一六〇
成果としての助言	一六三
テーマ選択の重要性	一六四
倫理学の役割	一六六
正直と馬鹿正直	一六九
対人関係における正直さ	一七三
自らの誤りの承認	一七五
将来の予測	一七五
公正	一七五
気紛れ	一七七
忠誠	一七九
愛	一七九
嫉妬	一八〇
謙譲	一八一
愛の達成	一八三

参考文献

..... 一八五

